

えいしょうざん

No. 38

発行所 栄昌山 立光寺

豊岡市日高町江原28番地

〇七九六―四二一〇四一八

編集者 堂前貴修

信のある家庭には光あり

菩提寺の行事に参加して
家庭信行に励みまじよう

旧年中は何かとお世話になり誠に有り難うございました

本年も変わらぬご厚誼を賜りますようお願ひ申しあげます

令和七年 乙巳 元旦

昨年は元旦から能登半島地震が発生し、被災地では、未だに復興作業がままならないまま、9月21日には豪雨災害が発生して2度にわたる災害に「心が折れた」と心を落として語る方もあり、本当に災害の恐ろしさと山々と海岸が厳しく接している災害地域が抱える問題により復興が遅れるもどかしさを感じました。5月15日頃から9月22日まで続いた約4ヶ月の夏の猛暑。海水温上昇による異常気象と台風襲来。宮崎県沖で南海トラフ地震か?と思われた地震。初秋にあった米不足とその後の米価の高騰。食料品をはじめとする物価の上昇。自民党の裏金問題。そのような問題を抱えて行われた衆議院選挙。10月27日の選挙の結果、与党の議席が過半数以下になりました。それにもまして、世界では2年に及ぶウクライナ・ロシア戦争。パレスチナ・イスラエル紛争はヨルダン・イランを巻き込んで今後大規模な紛争になる懸念を抱えています。何万人にも及ぶ人々が砲弾・ロケット弾・ミサイル・無人機爆弾の犠牲になる様相は本当に惨いものです。数多くの人々が家を

失い、食料・水を失い飢える姿を見る度に胸が痛くなるばかりです。一日でも早く争いの無い平和な世の中になるように、私どもも他人事にしないで、自分の事のように思つて向き合つていかねばなりません。

10月26日と27日に、京都本山、頂妙寺で近畿教区檀信徒研修道場が開催されました。参加者は43名、立光寺から4名が参加されました。今年の道場のテーマは「死後の世界あの世について」でした。講師は主任講師、京都市護国寺住職、上田尚志上人(令和6年護法大会法話講師)、副主任、京都市円成寺修徒、大岩昭直上人、常任講師、豊中市根本寺修徒、服部憲厚上人、豊中市法華寺修徒、大塚泰雅上人、河内長野市妙長寺修徒、吉村彰史上人の5人のお上人方でした。

あの世とこの世と言えは、あるのか無いのか? あるとすればどんな世界か? 往生とは? 極楽世界とは? どうしたら往けるのか? 遠いところなのか?

仏さまの教え、妙法蓮華経の教えにも「後生善処」「坐寶蓮華、成等正覚」が説かれ、お題目の信仰によって来世の霊山浄土において善いところに生まれ成仏すると説かれています。また日蓮聖人は、「霊山往詣」を説かれ「来世には久遠実成(永遠のいのち、不滅のいのち)のお釈迦様の許にお互いにお参りして安穩に暮らしましよう」のお言葉もあり



檀信徒研修道場のようす

ます。私たちは、現世から来世へ「私たちのいのち」が進んでいることは漠然(ばくぜん)と解つていても具体的にどういうものかは解らないのが現実です。あの世からこの世に生まれ変わる時に、過去のことは全て忘れてしまつて現世において一から学び経験していく人間であつても、一部の人の人において過去の経験を忘れること無く、話した言動と現実が一致して科学的な証明ができないことが実在していること。世界には「輪廻転生」を信じている国々がたくさんあること。洋の東西を問わず宗教を越えて、臨死体験をした方が話されることに、「あの世とこの世の境には大きな川が流れている」ことなど。一度きり、あの世に行つてしまつたら戻つて来れない中で、自分のこの目で見て実体験したことがない「あの世のこと 死後」について真剣に真面目に勉強する二日間を過ごしました。

二日間の5つの講義は、それぞれに内容が充実して、棺に入る体験もあり、講義を聞いて十分に心に残るお話を聴聞しました。

講義の内容をまとめると左記の通りです。

- ① 一般的に語られる浄土は極楽浄土。この浄土はお念仏を唱える浄土教の浄土。他にもお経によってたくさんの浄土が説かれている。
- ② 妙法蓮華経はお釈迦様のご生涯で最後に説かれた教え。お釈迦様は妙法蓮華経に真実を説くと言われた。つまり法華経が仏教の集大成。如来神力品第二十一には「通一仏土」と法華経説法までの全ての浄土を一つにまとめると説かれ、日蓮聖人はこの仏土を「霊山浄土」と教えておられる。
- ③ お釈迦様はこの娑婆世界から離れず、永遠に私たち衆生を救済しようと法を説かれている。故に浄土は遠いところにあるのではなく、私たちの身近な処、すぐそばに目には見えなけれどお釈迦様はいらっしゃる。
- ④ 私たちは誰も来世の霊山往詣を願う。往詣して仏となるために普段の信仰心、信心が何よりも大事。人の役に立ち人を助ける生活が心がけ、仏さまに手を合わせ法華経・お題目をお唱えする日常生活を実践する。来世があると信じて心から往詣をお祈りする。

日蓮聖人は「ただし各々の信心によるべく候」と仰います。私たち一人一人が信心を強く持つて、南無妙法蓮華経をお唱えすること何よりも大事であることを学びました。

あなたとわたしの尊い「いのちに合掌」

立光寺納骨堂 久遠靈堂を建立しました



5寸の骨壺が4基とお位牌が入るサイズです



11月6日に 納骨堂 久遠靈堂に88基の納骨棚を安置いたしました



工事前の庭園の景観

をご説明させていただきます。

昨今のさまざまなお墓事情を考慮して、さまざまなニーズにお応えできる寺院であることを目標として久遠靈堂を建立いたしました。納骨棚は88基。11月10日の御会式までに完成しました。12月から希望者と相談した上でご契約を頂く予定です。お申し出を頂いた方に個別で契約金・供養料等の詳細

納骨堂は、既に建設されている立光寺合祀墓「久遠靈廟」に併せて「久遠靈堂」と命名いたしました。

9月12日の竜口法難会・信行会に併せて上棟式を営み納骨堂の無事完成と安泰をお祈りしました。

9月初めから、納骨堂の基礎工事が始まりました。神鍋石材さんが基礎工事、建物建築は日高町山本の森田建築さんをお願いしました。納骨堂の設置場所は、本堂の北側に既存でありましたコンクリート製の外廊下を利用して更に50センチほど庭園へ床面積を伸ばしました。建物の下になる岩石ははじめからこの場所にあった溶岩で、壊して撤去する予定でしたが作業の手間と労力がかかることと、そのまま残しても床の高さに影響がないことから一部が納骨堂の下になりました。かえって景観が良くなって感じの良い外観になりました。



足場が設置されました



足場の工事が始まりました



本堂から庫裏 基礎工事



久遠靈堂の基礎工事



久遠霊堂の建物材料が2カ所に置かれました



建物の材料が搬入されました



庫裏書院から本堂



9月12日に久遠霊堂の建前工事 意外と大きな建物です 本堂の大屋根の下の屋根取り付け工事は狭く手間がかかりました



久遠霊堂の入口



傾斜を付けて段差解消しました



工事前の本堂と庫裏の廊下

柱が立ち桁^{けた}の取り付けです

完成した水屋



水屋工事のようす



久遠霊堂の外観



納骨壇が入る前の内部

辰年のことわざ

竜頭蛇尾

始めは勢いが良いが、終わりは振るわないことを指します。頭は竜のように立派なのに、尻尾は蛇のように細かい様子を表しています。

蛇に噛まれて朽縄におじる

蛇に噛まれてから、道ばたの朽ち縄を蛇だと恐れることから、一度の失敗で些細なことにも過剰に用心深くなることを意味します。

藪をつついて蛇を出す

わざわざ藪から追い出した蛇に噛まれることから、余計なことで災いをうけることを表しています。

蛇は寸にして人を呑む

自分より大きいものを呑み込むことから、偉大な人には幼少期から常人と違う素質を持っていることを意味します。

灰吹きから蛇が出る

思ってもみないところから蛇が出たことから、思いがけないことやありえないことが起こるという意味のことわざです。

杯中の蛇影

中国の故事で、酒の杯にあった影から蛇を飲んだと思つて病氣になった人が、あとで弓の影だと知つてすぐに治ったことから、物事を疑つて憶測すると何でもないことに怯えてしまうことを意味します。



藪医者（やくいしゃ）の薬箱と蛇の足（へびあし）は見た者が（み）ない

蛇の足を見た者がないように、藪医者の持つっている薬箱の中を覗いて見た者はいない。藪医者は、患者にどんな薬を用いているものやら分かつたものではない。

立光寺ホームページ

立光寺のホームページを更新しました。

ホームページアドレスは
<http://www.eishozan.com/>



2月3日 立光寺節分星祭りのご案内

2月3日午後7時30分から、立光寺本堂にて、毎年恒例の節分星祭りを奉行いたします。詳細は、同封の案内状のとおりです。この節分星祭りは、除厄開運の御守護神である妙見大菩薩に法味を捧げ、私たちが健康で息災に生活ができますように御祈祷を申しあげる祭礼です。

人は、10年を周期として運勢を巡回すると言われてます。よって毎年、それぞれに御守護の守護星が代わります。守護星は、日曜星、月曜星、火曜星、水曜星、木曜星、

金曜星、土曜星、計都星、羅喉星です。悪き星回りには悪しきことが起こらぬように守護され、善き星回りには好転の余り、過失が起きぬよう慎みを促される星神です。どうぞ「節分星祭ご案内」の「星祭申込用紙」に御家族御一同様の御名前・生年月日・性別・数え年・備考欄（祈願）をご記入の上、1月25日までに立光寺へお申し込み下さいようご案内申し上げます。

※ プラスチック製品・金属製品等、不燃物のお焚き上げはご遠慮下さい。

第56回護法大会養父市ビバホールで開催

今年の護法大会は、4月29日（昭和の日）午後1時から養父市広谷のビバホールで開催の予定です。今年から午前からの日程を試みとして午後から開催に改めます。法話

の講師は身延山久遠寺から派遣頂きます。後日、兵庫県北部宗務所からご案内があります。どうぞお誘い合わせて多数の御参加を頂きますようお願い申し上げます。

初講会・檀信徒総会

お誘い合わせの上、ご参観ください

但馬信行会

但馬信行会は10月中旬に開催されます。後日、兵庫県北部宗務所からご案内があります。お誘いあわせ多数の上、ご参加をお願い申し上げます。護法大会と同様にお寺から送迎バスを用意いたします。

寒行のお知らせ

1月20日（土）から1月26日（金）の一週間、午後2時から立光寺本堂で寒中修行をいたします。どうぞ、お誘い合わせの上ご参加くださいますよう御案内申し上げます。

立光寺女性会入会募集中！

立光寺女性会は、現在会員が20名です。毎月12日の「立光寺信行会」を活動日として信行と親睦を深めています。